



HIMEJI DOKKYO

UNIVERSITY



姫路市長からのメッセージ

医療系総合大学として地域医療人材の育成に貢献

姫路獨協大学は、「姫路に総合大学を」という、全市を挙げての大学誘致活動の下、全国初の「公私協力方式」により、昭和 62 年に開学されました。

開学後、社会情勢の変化や時代のニーズに対応され、医療保健学部、薬学部、看護学部、人間社会学群を順次開設されるなど、姫路市域の保健医療・看護分野の発展にご貢献をいただいております。

このたび、姫路獨協大学が地域に貢献する医療系人材を育成する「医療系総合大学」に前進されることを踏まえ、本市と姫路獨協大学とで締結していた包括連携協定における連携協力項目に、「地域医療の向上に関すること」を追加しました。地域医療の分野においても連携を進め、地域社会の発展や健やかに安心してくださるまちづくりに取り組んでまいります。

姫路獨協大学への期待

医療従事者の確保はどの地域でも喫緊の課題となっており、このたびの医療系総合大学への前進を契機として、姫路獨協大学が、地域の医療を支える人材を育成する先駆的な大学として発展していかれることを期待しております。

受験生・高校生の皆さんには、ぜひこの姫路の地で、ご自身の夢に向かって勉学に励み、実践的な経験を積んでいただき、未来の地域医療等を担う人材へと成長されることを願っております。

令和 5 年（2023 年）6 月 姫路市長 清元 秀泰



令和 5 年 5 月 24 日、変更協定を締結し、地域医療でさらなる連携を推進